

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【会瀬あいうえお】 ・あいさつ運動 ・花いっぱい - けやきの木	「会瀬『あいうえお（あいさつ・いじめなし・えがお・おそうじ）』」の合い言葉のもと、月初めに各学年が分担し、あいさつ運動を実施した。さらに運営委員会があいさつ運動への自主参加を呼びかけた。また、階段下のスペースに「人権コーナー」を設置し、身近な人権について知り、考え、実践への意識作りの場とした。児童が自分で考え、実践していこうとする宣言や呼びかけを花のメッセージカードに記入し、全児童が通る階段下に設置することで誰もが確認できるようにした。 成果 上学年の呼びかけもあり、自主的にあいさつ運動に参加する児童が増えた。複数学年がともにあいさつを交わすことで、異学年交流を深めることにもつながった。「人権コーナー」に学校生活全体を通し、児童の考えや気持ちを自分に合った表現することができた。さらに、「週のめあて」などで随時具体的な取り組み内容を示すことで、人権意識を持ち続けることにつながられた。みんなが笑顔で生活できるようにするための具体的な方法を考え、意識を高めることができた。 課題 自主的なあいさつ運動が継続し、よりよいコミュニケーション力の向上が図れるようにしていけるように指導支援していきたい。自分の言葉で表した事柄を実践化する力をさらに高められるように、道徳や特別活動等を通して指導していきたい。
2 実践2 【ハッピースマイル大作戦】	いじめのない学校・楽しい学校を目指した全校集会活動とし JRC 委員会が企画・運営して行った。各クラスで取り組む目標として「人権スローガン」を話し合い、全校集会（今年度はリモートで開催）で発表した。また、スローガンに関して、児童一人一人が具体的行動目標を記入したものをハートのカードに書き、クラスごとに掲示物にまとめた。人権スローガンや児童の行動目標は、昇降口や教室までの通路壁面に掲示し、確認できるようにした。 成果 学級ごとに「いじめ」をテーマに話し合いをし、スローガンを決め、発表用模造紙に書き、リモート集会で発表できた。スローガンをもとに個人でも、自分ができることをハート型のカードに書き、学級ごとにラシャ紙（「ハートいっぱい」）に貼って掲示することができた。具体的な取り組みが確認できるので、実践化の一助になった。 課題 クラスで話し合うことで、いじめのない学校にしようとする意識を高めたり、その方法について共通理解をしたりできた。また、個人の目標を書くことで、具体的な行動目標設定ができたので、スローガンの内容の実践を継続していけるよう指導していきたい。